

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公表番号】特表 2015-522644 (P2015-522644A)

【公表日】平成 27 年 8 月 6 日 (2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報 2015-050

【出願番号】特願 2015-523552 (P2015-523552)

【国際特許分類】

C 07 D 309/10 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 K 31/35 (2006.01)

【F I】

C 07 D 309/10 C S P

A 61 P 3/10

A 61 K 31/35

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 - シアノ - 2 - (4 - シクロプロピル - ベンジル) - 4 - (- D - グルコピラノース - 1 - イル) - ベンゼンと一種以上の天然アミノ酸の複合体の結晶であって、

前記天然アミノ酸が L - プロリンであり、

前記複合体が、1 - シアノ - 2 - (4 - シクロプロピル - ベンジル) - 4 - (- D - グルコピラノース - 1 - イル) - ベンゼンと L - プロリンとの複合体 (1 : 1) であり、

前記結晶が水を含む、結晶。

【請求項 2】

1 - シアノ - 2 - (4 - シクロプロピル - ベンジル) - 4 - (- D - グルコピラノース - 1 - イル) - ベンゼン及び L - プロリンの複合体と、前記水との間のモル比が、1 : 1 であることを特徴とする請求項 1 記載の結晶。

【請求項 3】

17 . 61、17 . 77、20 . 28、21 . 14、21 . 64、及び 27 . 66 度 2 (± 0 . 1 度 2) におけるピークを含む X 線粉末回折パターン (前記 X 線粉末回折パターンは Cu K_α 放射線を使用してつくられる) を特徴とする請求項 1 又は 2 記載の結晶。

【請求項 4】

X 線粉末回折パターンが 4 . 99 及び 23 . 23 度 2 (± 0 . 1 度 2) におけるピークを更に含み、前記 X 線粉末回折パターンが Cu K_α 放射線を使用してつくられる、請求項 3 記載の結晶。

【請求項 5】

少なくとも 50 質量 % の請求項 3 又は 4 記載の結晶と、他の結晶とを含有する、混合物。

【請求項 6】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載の結晶、又は請求項 5 に記載の混合物を含むことを特

徴とする医薬組成物。

【請求項 7】

ナトリウム依存性グルコース共輸送体 SGLT を阻害することにより影響され得る疾患又は症状の治療又は予防における使用のための請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

ナトリウム依存性グルコース共輸送体 SGLT 2 の阻害における使用のための請求項 6 に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載の結晶の製造方法であって、

前記方法が下記の工程：

(a) 溶媒又は溶媒の混合物中の 1 - シアノ - 2 - (4 - シクロプロピル - ベンジル) - 4 - (- D - グルコピラノース - 1 - イル) - ベンゼン及び L - プロリン の溶液を調製する工程；

(b) その溶液を貯蔵して結晶を溶液から沈澱させる工程；

(c) 沈澱をその溶液から除去する工程；及び

(d) 必要により過剰の前記溶媒又は溶媒の混合物が除去されるまで沈澱を乾燥させる工程を含み、

前記溶媒が、エタノール、イソプロパノール及び水からなる群から選択される、ことを特徴とする前記方法。